

## ALPS 処理水の海洋放出に係る関連産業の状況調査結果について（9月22日現在）

9/19~9/22 の期間に産業団体等から聞き取り

## (1) 既に生じている影響

## ○ 中国等へ向けた輸出停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・加工業者各社の冷凍倉庫へのホタテの在庫が積み増しされている。
- ・在庫消化が進まない一方、ホタテの水揚げは順調で、加工と保管に係るコスト(人件費や冷凍保管庫の電気代、他地区の冷凍倉庫への移送代など)がかさんでいる。

(商工関連団体)

- ・複数の荷主から輸出向け製品入庫の打診があるが、容易に入庫が難しい状況。
- ・中国以外への輸出を模索していた中、欧米の業者から値下げ要求があった。

(食品関係団体)

- ・玉冷の荷動き停滞と価格下落や中国向け両貝の輸出のストップが発生。
- ・輸出用のナマコ加工ができず、原材料の保管料が発生。

## (2) 今後懸念すること

## ○ 中国の水産物輸入全面停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・加工業者は在庫の消化ができないため、収入がなく、今後の資金繰りを懸念。
- ・加工業者から、一連の問題への国の対策にスピード感がないと怒りの声がある。

(商工関連団体)

- ・中国の加工業者による道内秋サケの骨抜き加工(加工後、国内に戻す)を国内のみで対応することになれば、コスト面・人員面で対応できなくなる可能性が考えられる。
- ・秋サケの水揚げが順調になれば、出庫見込みがない製品の入庫は断らざるを得ない状況。
- ・東京電力への損害賠償や補助金申請に係る相談が出てきている。
- ・売り先の見直しに伴う再加工・再パッケージの人手不足解消に向けた設備投資に伴う負担増。

(食品関係団体)

- ・ホタテの在庫増に伴う玉冷価格の大幅な下落が予想され、水産加工業者から流通卸売業者への売価が原価を下回る可能性がある。
- ・道は、国内需要拡大の「食べて応援！北海道キャンペーン」を実施しているが、同時に水産加工業者へ売価下落に係る利益補填対策を講じなければ、赤字が増加してしまう。
- ・東電への賠償請求等の書類作成は難しいことも多く、賠償金を受け取るまでに時間を要することとなるが、支援体制の構築がされていないため、スムーズな請求が行えない。

## (3) 海外(中国)の状況(北海道上海事務所からの情報)

- ・在上海日本国総領事館によると、抗議電話は皆無となった。
- ・現地の処理水に関する報道は大きく減少し、現在は国営テレビで週1回程度、ネットニュースで週に2~3回、目にする程度。
- ・道内から北京に進出の飲食店では、処理水放出後も客足への影響はほぼないが、年内に中国国内でオープンさせる計画だった新規4店舗のうち、1店舗が処理水放出を受けて白紙となった。